

せんえんだより

4階病棟における

「急変シミュレーション研修」

4階病棟 副看護師長
かの 由利子
鹿野 より子

急変とは？

急変とは、予測される臨床経過から大きく外れる変化であり、とくに大きなバイタルサインの変化を伴う、死に至る可能性のある状況の変化を指します。

患者様の急変は、いつ、どこで、どんな状態であっても起こりえる可能性があります。いざ患者様の急変に遭遇した場合、看護師には生命維持や救命のための迅速な対応と、身体の不可逆的変化を最小限にとどめるための治療およびその介助、患者様への安寧・安楽なケアが求められます。急変に遭遇した場合に最も重要なのは、患者様の生命危機からの回避と的確に行動できる実践力、今以上に悪くさせない応急処置の技術力が求められます。



しかし患者様の急変時は、ベテラン看護師であっても大なり小なり動揺しますので、経験年数の少ない看護師はなおさらです。

そこで4階病棟では実際の夜勤を想定し、新人看護師の指導者を中心に急変時の対応を学ぶ研修を開催しています。今年も10月18日に2名の新人が取り組みました。新人看護師は先輩看護師と介護士の3名1組で数週間前から練習を行いました。緊張もあり練習した通りにはいきませんでした。その場その場で考え行動しなければならない生きた研修になりました。これからも起こりうる急変に備え、いつでも即応できるような心構えと実践力を修得し、看護師一人一人が役割意識を持つことができるよう心がけていきたいと思えます。

－ Index －

- ・ 4階病棟における「急変シミュレーション研修」
- ・ KYT研修 ・ 俳句・川柳・短歌コーナー
- ・ 3階病棟「秋まつり」
- ・ 入院中のお食事；10月の行事食「ハロウィン膳」
- ・ 外来診療担当医表/外来からのお知らせ
- ・ 病院間送迎車のお知らせ

－ 基本理念 －

1. 患者さんに、現在の「最良の医療」と「思いやり」を提供する
2. 患者さんから「信頼され・選ばれる」病院になる
3. 地域医療に「永続的に貢献」する



第2回 K Y T 研修

10/24

看護現場に潜む危険性には、看護は多重業務、作業中断が多い、複数の患者を受け持ち優先順位を決めなければならない、時間切迫の中での業務への気配り、気働きが求められています。また複数の医療者への情報伝達を要求され、引き継ぎの伝達エラー等々があげられます。

その中で私達の現状は、「一度起きた事が又起きている」「私が起こした事は他の人も起こす」「多くの人が同様の状況では同じような反応をする」。

それは何故でしょう。それは、人間は誰でも間違えると言う特性を持っているからです。注意は持続出来ない、記憶は永続的ではない、忘却する記憶は変容する、外部環境・心理的環境を受ける、ヒューマンエラーの要素を持っているからです。人は見たいように見て、聞きたいように聞く特性を持っています。人間は誰でも間違えます。しかしこれに甘んじてはいけなく、ヒューマンエラーを起こさないよう自分自身を律していく必要があります。

そこでKYT=危険予知トレーニングという教育の一つが大きな役割を持っています。KYTは、見えていない危険を見ようとするトレーニングです。危険感受性を磨く気づきの訓練で、まだ起きていないエラーや事故の可能性を察知し、事前に防止する手立てを講じる能力を身につける事が目的です。



事故対策委員会主催のKYT研修は、年3回行っています。前回まではシートやイラスト写真を見ながら、第1ラウンド「現状把握」、第2ラウンド「本質追求」、

第3ラウンド「対策の樹立」、第4ラウンド「目標設定」し、「～するときは～し～しよう、ヨシ！！」で終了してきました。しかし本来KYTは第6ラウンドまであり、第5ラウンドでみんな実践、第6ラウンドで評価、修正が推奨されています。今回は、第6ラウンドまで行いました。



KYTはトレーニングであり、KYTの研修の時だけでなく、継続してこそ力を発揮します。

起こそうと思って事故を起こしている人は誰もいません。でも事故は起こるのです。起きた失敗から学ぶのです。大切なのは、何故起きたのか、どのような場面でのどのような状況だったか、分析し共有し合い、リスクを最小限にする為に対策を講じる事です。対策を実践し、評価し、必要なら修正していく。この一連の流れがスムーズに行えてこそ、医療安全対策と言えるのだと思います。

日常の業務の中で、ヒヤリハットからインシデントまでリスクはいつもつきまとい失敗し落ち込む事も多くあります。しかし失敗を失敗で終わらせてはいけなく、失敗から学べ！！と言う事です。

私達事故対策委員会は、患者さん、ご家族の方々に安全、安心な医療、看護を提供できるよう一人でも多くのスタッフがKYTを理解し活用し、事故対策防止に役立ててほしいと研修会を継続して行っています。

※インシデント…実際には事故には繋がらなかったが可能性として重大な事故になっていたかもしれないこと。

※ヒヤリハット…実際には患者さんに被害はなかったが、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした経験のこと。

看護部 事故対策委員
看護師 鈴木 悦子

俳句・川柳・短歌コーナー

たくさんの素敵な作品をご応募いただきありがとうございます。
今回は6作品をご紹介します。



作品 ①

老本の

今も色よく

老いしらす

背景・想いなど

もみじの老本は、亡き夫の愛した本です。

応募者

塩釜市

千葉さん(九十年代女性)

作品 ②

少年は

将棋の妙手

秋しぐれ

背景・想いなど

中学生がすぐれた腕前で将棋をする姿に、言葉遣いに大変感動した。

応募者

猫ばあばさん

作品 ③

すじめ来て

何を語ろう

親子かな

応募者

塩釜市

千葉さん(九十年代女性)

作品 ④

冬近し

こころのバランス

整えて

応募者

りやんさん

作品 ⑤

秋風に

散られし葉っぱ

もみじ庭

応募者

塩釜市

千葉さん(九十年代女性)

作品 ⑥

少年の

猿の遺伝子

山葡萄

背景・想いなど

ふる里若手に行ったら山は昔のままで、中学生の甥がサルのように本から本へと渡り、ぶどう・アケビ・柿を取り、ありがたいただいて来ました。

応募者

猫ばあばさん

3階病棟 秋まつり



3階病棟では、「秋まつり(ハロウィン)」を開催しました。5階病棟の患者さんにもご参加いただき、ハロウィン用の帽子と黒いマントで仮装してから始まりました。

まずハロウィンの起源についてお話がありました。もともとは秋の収穫のお祝いと悪霊を追い払う行事でしたが、今ではお菓子を貰うまつりや仮装して楽しむまつりになっているそうです。

今回は、職員の自宅で収穫した柿やかきん、さつまいも、はくさい、ピーナッツかぼちゃなどを紹介しました。実際に触ったりして秋の収穫をお祝いしました。

その後、お菓子釣りを行いました。ショートケーキやドーナツ、マカロン、ホットケーキなどをみなさん楽しそうにゲットし、上位3名の方には、佐藤容子先生から賞状とメダルが贈られました。



入院中のお食事

月に1度、四季折々の歳時などにあわせたお食事を「行事食」として提供をしています。



ハロウィン膳

10/31 提供

常食



- ・ロールパン
- ・パンプキンシチュー
- ・コールスローサラダ
- ・トマトの青じそドレ
- ・かぼちゃプリン

◎ロールパン◎
久しぶりにパンを提供しました。
◎かぼちゃプリン◎
手作りのかぼちゃプリンです。ひとつひとつ心を込めてチョコレートで顔を書きました。

解説



ソフト食



- ・バター粥
- ・パンプキンシチュー
- ・コールスローサラダ
- ・トマトの青じそドレ
- ・かぼちゃプリン

◎バター粥◎
バターフレーバーオイルを混ぜて炊きあげました。
◎コールスローサラダ◎
キャベツと人参は、食べやすいよう軟らかくしています。
◎パンプキンシチュー◎
ハロウィンらしくかぼちゃを使用しています。ブロッコリーと星型の人参を散りばめ、彩よく仕上げました。

解説

嚥下食



- ・バター粥
- ・パンプキンシチュー
- ・コールスロー風
- ・トマトの青じそドレ
- ・かぼちゃプリン

◎トマトの青じそドレ◎
トマトのゼリーとほうれんそうのゼリーを使用しています。大きく切ることで、誤嚥を予防しています。
◎パンプキンシチュー◎
顔は、鶏肉をペースト状にしたものにかぼちゃシチューソースをかけています。三角帽子は、インゲンと小松菜のムースでできています。

解説



外来診療担当医表

診療担当医は予告なく変更になることがありますので予めご了承ください。

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金
内科	8:30~11:30	※橋口 良一 小泉 賢治	佐藤 容子 石垣 五月	佐藤 一俊 菊地 孝夫	佐藤 容子 佐藤 一俊	※橋口 良一 石垣 五月
	14:00~16:00	角田 隆	佐藤 一俊	※橋口 良一	大学病院 医師	小泉 賢治
整形外科	8:30~11:00	李 榮茂	神尾 一彦 新患のみ 林 耕宇	安島 雄二	宮坂 芳典	長谷川 和重
形成外科	14:00~16:00	南雲 正人	-	月1~2回 南雲 正人 11/29,12/13,12/27	-	-

※禁煙外来も行っています H29.11.20 現在

外来からのお知らせ

内科

3月22日(木) 午後の外来は休診です

3月30日(金) 石垣先生の外来は休診です

整形外科

12月1日、12月15日(金) 長谷川先生が不在の為、外来は休診です

病院間送迎車のお知らせ



(定員 9人)



乗降口にステップと
手すりがついて
乗りやすくなっています！

仙塩総合病院⇄仙塩利府病院間の
無料送迎車の車両が11月17日より
「トヨタ・ハイエース(白)」
に変更になりました。

※運行時間は、変更ありません。



医療法人寶樹会
仙塩総合病院

〒985-0842

宮城県多賀城市桜木2丁目1-1

TEL 022-367-4111(代表)

仙塩総合病院

検索

ホームページでも
ご覧になることができます

